4

コミュニティの運営	②有償活動の整理	③構成員・関わり方	コミュニティ・交付金の周知
交付金を活用してどんな効果があったのか	交付金を使いやすくする(柔軟性)	隙間時間お手伝い参加のあり方	SNSの活用(世代に合わせた周知方法)の必要性(新 しいツールは柔軟に取り入れる)
事業の参加人数だけではなく、事業をしてどんな課 題解決に繋がったのかを示してもらうべき。	市全体に情報が伝わってから、呼びかけられる	構成員以外の関わり(裾野の広げ方、身近にある課題、 課題解決のために参加できる場所がある事を伝える)	住民が「自分ごと」と感じる周知が必要
PDCAの振り返りが必要 従来目指していたものに対しての検証の機会があれば、意義や理念も薄れず活動できる	「ボランティア」という言葉だけで背負うには重たい 課題を担っている	組織に属さない活動(個人活動)の巻き込み方	自慢大会の開催(交付金の使い方)
身近な事例を示して、効果を感じさせる	やりがいだけが活動源では持続が厳しい、参加しない	地域学校協働事業(市関連所管)との連携	コミュニティが全住民対象だと知らない
やってみたが効果の無いものは <mark>断捨離</mark> (地域別計画 からも消す) <mark>自慢大会も断捨離に活用</mark>	最低賃金にすると≒仕事、逆に無関心層が増える可能 性	地域別計画の策定への関わり(全市民に参加を呼びかけるべき、作る段階で関わりが無いから、課題が見えない、伝わらない)	地域別計画を知らない、知られていない(各地域の計画を比較して見える化すべき)
効果の測定は本来なら住民でしてほしい	隙間時間(地域のために使える時間)でのお手伝い	自治会との関わりのあり方、役割分担	交付金(性質)を知らない、知られていない
事務局のあり方検討	地縁にも専門性や責任性が必要になってきているので 対価は必要	関わる人で運営できる仕組みを作る	チラシ、捨てられない工夫(見ない人への対応)
物価高騰への対応	有償化への取組みは地域別計画に記載されるべき	若手人材(担い手)不足(好きな事ができる、失敗し ても良い、余裕のある受け入れ姿勢が大切)	裾野を広げる周知のあり方(仲間に入れてほしい人に、 その機会が与えられる必要がある)
地域別計画が本当に役に立っているのか、どんな課 題があるのか調査できれば良い	こんな大変なことに、貴重な時間を使って活動しても らっているので対価を払っていると分かれば、肯定的 に捉えられる		参加して自分は何をするのか分からない、参加するための情報をどこから得れば良いのか
<mark>自慢大会(各コミの特性・注力事業や売り)</mark> 相互に学び刺激し合いながら、人を育てる場が大切	既存の事業を有償化していく場合の有償・無償の範囲 や公平感、切り分けが難しい	住民みんなが構成員だと知ってもらう(自分ごと)	自分ごと目線の周知が必要(実績だけを記載した機関 紙では×、地域の課題、活動の目的、課題解決の手段 の見える化が必要)
自由度は高いはずの制度が既得権で縛られているような状態(変更が難しくなっている)	<mark>学生ボランティア(学生との関わり、</mark> 若い世代は失敗 しても過程を楽しみたいので見守る、責めない)	受動的な人の巻き込み方(誘われたら案外参加する人はいると思う)	交付金は自分のお金だと思ってもらう
	見せ方(僅かな報酬に対してお金をもらっているのだ からという視線にならない工夫)	活動する方も専門的な知識が必要であれば研修を受け、 円滑な運営に繋げる	どう使われているか知ってもらうための最低限のルー ルが必要
運営に関わる方の交流やサポートの場が必要(会長 以外にも広くサポート)		地域に必要なサービス=地域の人で担うではなく、外部から提供、協力してもらうのもひとつ(マッチング制度の利用、地域企業との関わり方の工夫)個別の相談は市民活動センターも一緒に考えることができる	街灯の改修にいくら活用した等、自分に近しいところで、どれだけ交付金が使われたのかなど、会計報告も分かりやすくする
責任感を感じにくい気軽な参加で、まずは活動を 知ってもらうという参加が若い世代には合っている。		コミュニティと自治会の関係性の再整理(地域に応じた 関係性を踏まえる)	どんな些細な機会でも徹底して「交付金で実施」「実 施の目的」「全住民対象」を伝える
10年も経過し、課題や駆使できるものも進化したので、今までを尊重しつつ、柔軟に新たなものを受け入れていく、活用する。		活動の目的が明確に見えてこないから、参加に繋がらない。見える化が必要。	活動の成果が伝わらず、コミュニティの活動だと認識 されないから必要性を感じてもらえない

関わるきっかけは強制ではなく、楽しそうが入口であることが理想的

コミュニティ活動への参加